



日本共産党 青梅市議団

青梅市議会議員

みねざき 拓実 市議会報告

暮らしの相談、法律相談(要予約)は、お気軽にどうぞ!

2022年10月・11月

連絡先

070-5590-6081

明星大学跡地購入方針は撤回を

青梅市は、昨年「明星大学青梅キャンパスの跡地を取得する方針」を表明しています。私は6月の一般質問でこの問題を取り上げましたが、そもそも購入の目的が不明確であるという根本的な問題の姿が浮かびあがりました。

公共施設からキノコ栽培まで



購入の目的は、昨年はおもに「将来の公共施設の用地」とされていたのが、今年になって「工業用地」「道の駅」「農業振興(キノコ栽培など)」も新たな利用案としあげられ、私の質問には、市長が「将来的に体育施設を維持管理するということが一番重要だ」とも答えました。

すでに所有している土地・建物であれば別ですが、まだ購入していない土地・建物のおもな利用目的が定まっていないのは、おかしいのではないのでしょうか。このような状況であれば、少なくともこの方針は一度撤回し、市民に経緯を説明するべきです。

見通しがいい利用案ばかり

市が示した利用案は困難なものばかりです。公共施設の用地と言っても、総合体育館を移転すれば、市民は不便になるのが目に見えています。また、サッカー場などのスポーツ施設を整備するのであれば、「整備計画」を作るのが先のはずです。

また、この跡地は「大学建設」を条件に開発が許可されたため、他の用途への転用には様々なハードルがあります。「工業用地化」や国の認定が必要な「道の駅」など、実現の見通しは持てません。一度取得すれば、売却することも困難です。

費用は不明

購入費は「交渉中」と示されていません。土地の造成費や建物等の資産価値から、本来であれば数十億円になるはずですが、大学が閉鎖されたままという経緯から低額や無償での譲渡も考えられます。しかし、建物の解体費(アスベストがなければ約10億円)、スポーツ施設の改修費、土砂災害対策などの維持費は不透明で、莫大な金額がかかることが予想されます。



明星大学青梅キャンパス跡地とは

2015年に閉鎖された明星大学青梅キャンパスには、大学の講堂などがそのまま残されています(以下、跡地)。延べ床面積が3000㎡から6000㎡程度の校舎等が5棟、柔剣道場などを含む体育館、その他施設で建物の総床面積は約3万9000㎡です。

また、跡地には野球場1面、総合運動場1面、テニスコート6面があり、長淵2・5・9丁目にまたがる総面積は山林を含めて約80万㎡と広大です。

参考 青梅市役所(床面積):約2万2000㎡
旧東芝(現物流センター・敷地面積):約12万㎡

子どもの医療費

中学生
まで

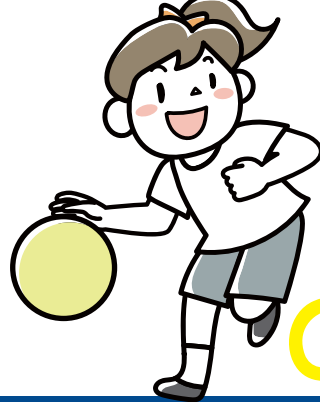
窓口負担が 完全無料に！

未就学児が医者にかかった時の窓口負担は無料だったのに対して、これまで小中学生は1回200円の負担でしたが、10月から小中学生も窓口無料になりました。

また、東京都は来年4月から高校生(の年代)の窓口負担を無料にする制度を実施しますが、自治体によって、窓口負担や所得制限の有無が分かれました。

近隣では、福生、あきる野は高校生まで所得制限なし、青梅、羽村は高校生は所得制限ありとなりました。窓口負担も多摩では青梅をはじめ多くの自治体が「200円」で、23区が「窓口負担も所得制限もなし」としたのと対照的です。

子どもの医療の「多摩格差」を解消し、保護者の負担を軽減するため、市独自にでも、所得制限と窓口負担の撤廃を実施するべきです。



子育て いちばん

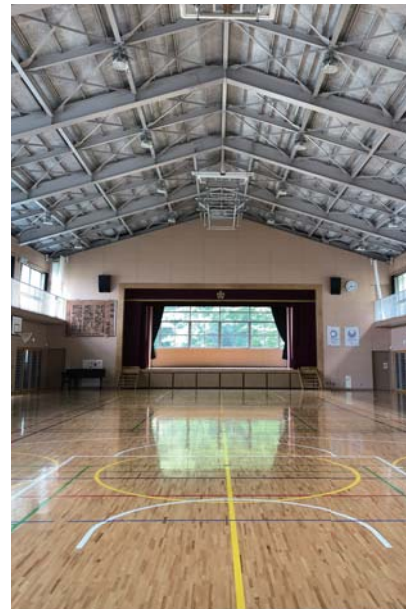
学校体育館に エアコン設置

小中
全校

学校体育館のエアコン設置が、今年度と来年度で実施される方針が示され、9月議会では、まず今年度に中学校全校(10校)への設置の予算が可決されました。

猛暑で、授業や部活動に影響が出たり、卒業式の時期の寒さ、また、災害時には避難所にもなります。市議会として、再三、整備を要望してきました。

子どもや保護者、学校関係者の願いが実現し、本当によかったです。



7年前に建て替えた第四小学校の体育館はとてもキレイですが、まだエアコンはついていません。

通学路の安全対策



昨年6月、千葉県八街市で通学中の児童5人が死傷するという痛ましい事故を受けて、青梅市は通学路の危険箇所を洗い出しました。

9月議会の一般質問で、調査の結果と対策について質問したところ、危険箇所が市内で計81か所あることがわかりました。早期に対策が可能なものは対策済みですが、歩道の設置など時間を要するものもあるとのことでした。

各小学校の危険箇所数

第一小	6	河辺小	1
第二小	5	新町小	3
第三小	10	霞台小	3
第四小	9	友田小	3
第五小	3	今井小	3
第六小	11	若草小	1
第七小	12	藤橋小	5
成木小	4	吹上小	2

新型コロナ対策

小中学生の感染者数は、今年4月から小学生285人、中学生149人で、学校内での感染と考えられるケースが見られました。学校での感染、クラスターの発生対策として、スクリーニング検査や同じクラスや部活など、希望する方が速やかに検査を受けられる体制の整備を求めています。

市の基金は100億円近くに

青梅市2021年度(令和3年度)決算

昨年度の青梅市は13億円の黒字、市の基金は100億円近くに増えました。「財政状況が厳しい」とよく聞く青梅市ですが、モーターボート事業が昨年1年間で52億円も儲かり、その半分以上を市財政に入れたこと、新型コロナ対策はほぼ国・都の補助金の範囲内でしか行わなかったこと、国から市への交付金も増えたことなどが理由です。

このような理由で、昨年度決算では、市は積立金※を31億円増やし95億円に、そのうえで年間13億円近い黒字

となったのです。モーターボートの会計にも80億円の基金が積み立てられています。

「もっと市民生活を守る仕事のできたのでは」との観点から、日本共産党青梅市議団はこの昨年度決算には反対しました。このような基金を活かして、新型コロナの影響や、消費税の増税、医療・介護の負担増、物価高騰に苦しむ市民の生活を支える施策を推進することが急務です。

※財政調整基金と公共施設整備基金の合計です。